

報道関係者各位

2021.5

福田美術館
嵯峨嵐山文華館

企画展「京のファンタジスタ」開催 ～若冲と同時代の画家たち～

同時代の画家たち
若冲と

京
みやこ

ファンタジスタ
KYOTO'S BOLD MASTERS

福田美術館 × 嵯峨嵐山文華館
FUKUDA ART MUSEUM SAGA ARASHIYAMA × SAGA ARASHIYAMA MUSEUM OF ARTS AND CULTURE

2021 7.17 SAT → 10.10 SUN

OPEN 10:00～17:00(入館は16:30まで) CLOSE 毎週火曜日
主催 / 福田美術館・嵯峨嵐山文華館・京都新聞
共賛 / 京都府・京都市教育委員会・京都商工会議所

beyond 2020

福田美術館・嵯峨嵐山文華館で共同開催！



伊藤若冲「燕に双鶏図」部分

近年人気が高まっている伊藤若冲（1716～1800）は、錦小路市場の青物問屋「枳屋」の長男として生まれました。昨年、福田美術館で初公開された「燕に双鶏図」は、家業に従事していた30代はじめ頃に制作されたもので、若冲最初期の作品とされています。年始のNHKドラマ「ライジング若冲」でも取り上げられたことにより、注目を集めました。

ドラマの舞台となった18世紀の京都は、若冲以外にも個性豊かな画家たちが群雄割拠しており、彼らが何に影響を受けていたかなどもわかってきています。本展覧会は福田美術館・嵯峨嵐山文華館の二館共同で開催し、「燕に双鶏図」をはじめとした福田美術館の所蔵する若冲作品すべてと、同時代を生きた画家たちの作品を盛り沢山に展示し、彼らの絵の魅力に迫ります。

第一会場 どうしてこんなに天才たちが 福田美術館

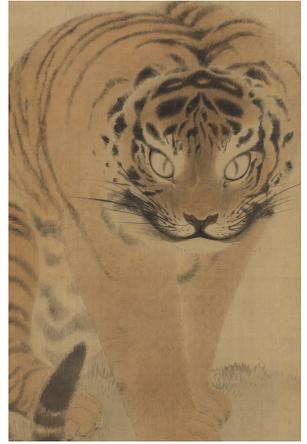
江戸時代の京都は四条通り界限を中心に多くの画家が暮らしていました。中でも、伊藤若冲と同じ年に生まれ、絵画と俳諧の2つの分野で才能を発揮した与謝蕪村（1716～1783）、日本において文人画を大成した池大雅（1723～1776）、写生を基本とした描き方が革新をもたらした円山応挙（1733～1795）、人々を驚嘆させた奇抜な画風の曾我蕭白（1730～1781）などが挙げられますが、彼らは互いに交流し、影響を受けながら、それぞれの画風を確立していきました。第一会場の福田美術館では、第一章として若冲と蕪村、そして第二章にて同時代の画家たちの作品を中心に、影響を受けた禅僧や中国の画家、大阪で活躍した同時代の画家の作品も展示します。



第二会場 天才くらべてみました

嵯峨嵐山文華館

円山応挙が描いた虎と、曾我蕭白が描いた虎。長沢芦雪が描いた海老と、白隠禅師が描いたエビ…
第二会場の嵯峨嵐山文華館では、若冲・応挙・芦雪・呉春など、18世紀から19世紀にかけて活躍した画家の絵画を、孔雀や虎、鶏や赤壁図、と画題ごとに並べて展示いたします。各々の描き方の共通する点や異なる点を比べながらご鑑賞ください。



日時	2021年7月17日(土)～2021年10月10日(日) 10:00～17:00 (最終入館16:30)
休館	毎週火曜日
料金	<二館共通券> 一般・大学生 ¥2,000/高校生 ¥1,000/小中学生 ¥500 障がい者と介添人1名まで 各¥1,000 <福田美術館> 一般・大学生 ¥1,300(1,200)/高校生 ¥700(600)/小中学生 ¥400(300) 障がい者と介添人1名まで 各¥700(600) <嵯峨嵐山文華館> 一般・大学生 ¥900(800)/高校生 ¥500(400)/小中学生 ¥300(250) 障がい者と介添人1名まで 各¥500(400) ※()内は20名以上の団体
主催	福田美術館・嵯峨嵐山文華館・京都新聞
後援	京都府・京都市教育委員会・京都商工会議所

作品総数：130点

・福田美術館：68点

(前29/後29/通10)

→うち初公開/20点

・嵯峨嵐山文華館：62点

(前29/後29/通5)

→うち初公開/19点

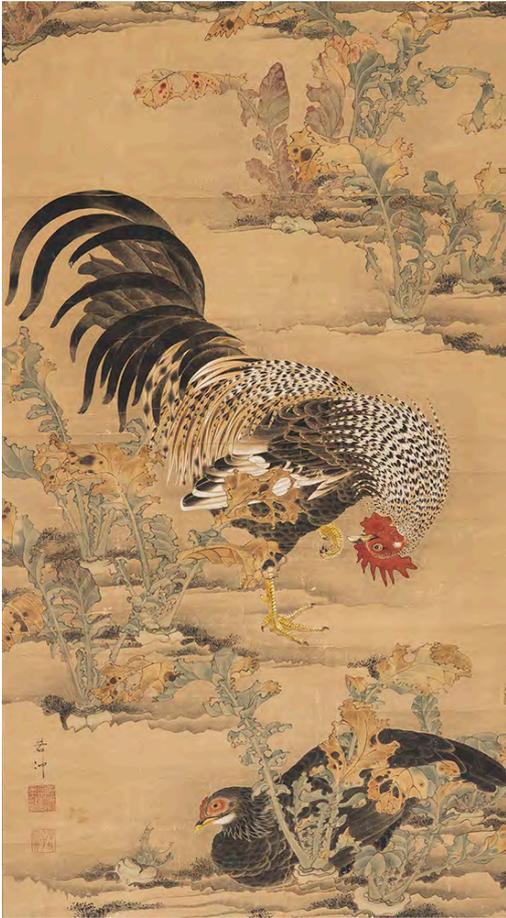
担当学芸員：岡田秀之

広報：中島真帆

○前期/7.17～8.30

○後期/9.1～10.10

※作品点数は変わる可能性があります



01



02



03



06



07



04



05



08

01.伊藤若冲
「蕪に双鶏図」
通期・福田美術館

02.伊藤若冲
「柳に雄鶏図」
前期・福田美術館

03.与謝蕪村
「筏士図画賛」
前期・福田美術館

04.長沢芦雪
「鐘馗図」
前期・福田美術館

05.曾我蕭白
「柳下白馬図」
前期・福田美術館

06.円山応挙
「黄蜀葵鷺鳥小禽図」
後期・福田美術館

07.池大雅
「菊花図」
後期・福田美術館

08.与謝蕪村
「猛虎飛瀑図」
前期・福田美術館

09.円山応挙
「牡丹孔雀図」
前期・嵯峨嵐山文華館

10.呉春
「孔雀図」
前期・嵯峨嵐山文華館

11.白隠慧鶴
「海老図」
前期・嵯峨嵐山文華館

12.長沢芦雪
「海老図」
前期・嵯峨嵐山文華館



09



10



11



12

13. 円山応挙
「丹頂鶴・岩水亀図」
右幅
後期・嵯峨嵐山文華館

14. 曾我蕭白
「粟に鶴図」
前期・嵯峨嵐山文華館

15. 円山応挙
「虎図」
後期・嵯峨嵐山文華館

16. 曾我蕭白
「虎図」
後期・嵯峨嵐山文華館



13



14



15



16



17

17. 与謝蕪村
「茶筵酒宴図屏風」
右隻
後期・福田美術館



18

18. 与謝蕪村
「茶筵酒宴図屏風」
左隻
後期・福田美術館

19. 伊藤若冲
「群鶏図押絵貼屏風」
右隻
前期・嵯峨嵐山文華館
後期・福田美術館

20. 伊藤若冲
「群鶏図押絵貼屏風」
左隻
前期・嵯峨嵐山文華館
後期・福田美術館



19



20

福田美術館について

美しい自然と日本美術の融和。日本文化の新たな発信拠点として

美術館の建つ京都・嵯峨嵐山は古来歌枕でもある場所で、多くの貴族や文化人に愛され芸術家たちが優れた作品を生み出す源泉となってきました。

福田美術館は、「100年続く美術館」をコンセプトに、現代まで受け継がれてきた日本文化を次世代に伝え、さらなる発展へと繋ぐ美術館を目指します。

オーナーである福田吉孝は京都に生まれ育ち、そこで事業を興し、今日まで続けてきたことに対し、地元の方々のご支援とこの地に恩返しをしたいという思いから、2019年10月、美術館の設立に至りました。

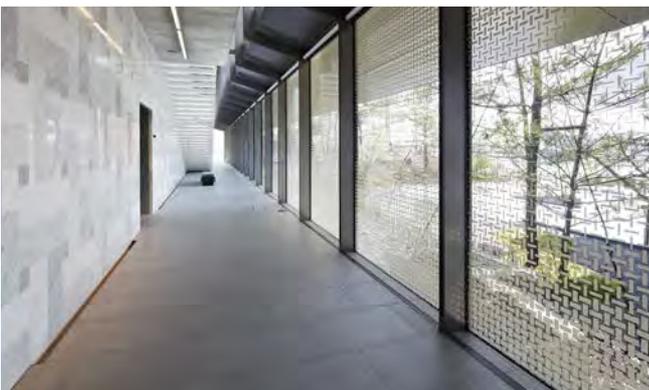
今や日本国内だけでなく、世界中から多くの人々が訪れる観光地である嵐山。その中でも渡月橋を望む大堰川（桂川）沿いの景勝地に位置し、四季折々でそれぞれに変化する風景は1000年変わらず人々を魅了する。この美しい自然とともに日本美術の名品を愉しむことで、嵐山が世界有数の文化発信地となることを願います。



嵐山にふさわしい、未来へむけた日本建築の形

福田美術館の建築を手掛けた安田幸一氏は、「蔵」をイメージした展示室や外の自然とのつながりを感じられる「縁側」のような廊下など、伝統的な京町家のエッセンスを踏まえつつ、これから100年のスタンダードとなるような新しい日本建築を目指しました。

また、庭には大堰川に連なる水鏡のごとく嵐山を映し出す水盤が設けられており、渡月橋が最も美しく一望できるカフェからは最高の眺めを味わうことができます。



嵯峨嵐山文華館について

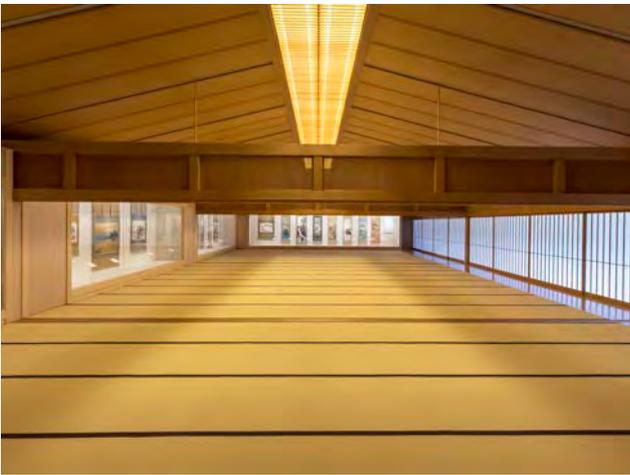
百人一首の歴史と日本画の粋を伝えるミュージアム

1000年以上も前から、歌枕として詠まれ、愛されてきた嵯峨嵐山の風景。当館はこの地で誕生したと伝えられる百人一首の歴史やその魅力と、日本画の粋を伝えるミュージアムです。

石段を上がり、冠木門をくぐって足を踏み入れると、春はしだれ桜、初夏はサツキツツジ、秋は紅葉、冬は冠雪と、四季の美しさを楽しめる石庭。

百人一首ゆかりの小倉山を背にし、古来より著名な景勝地であった嵐山・大堰川を借景として取り込んだ、二階からの眺めはまさに日本画の世界のようです。

美しい自然とともに、誰もが日本の美を身近に感じ楽しめるよう、シーズン毎に心ときめく企画展と知的好奇心を満たすイベントをお届けいたします。



1F常設展示では100体の歌仙人形（フィギュア）と百人一首の英訳が並び、藤原定家によって百人一首が選ばれた時から昨今人気の競技かるたに至るまでの変遷をご紹介します。

また2Fには120畳の広々とした畳ギャラリーは、じっくり座って自由に鑑賞することも可能。石庭を望む明るいテラスにはカフェスペースが設けられており、景色を楽しみながらお寛ろぎいただけます。



福田美術館概要

- 名称：福田美術館／Fukuda Art Museum
- 住所：〒616-8385 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16
- 電話番号：075-863-0606（FAX）075-863-0607
- メールアドレス：info@fukuda-art-museum.jp
- ホームページ：<https://fukuda-art-museum.jp>



- 敷地面積：1982㎡
- 延床面積：1193.58㎡
 - ・展示室1／151.2㎡
 - ・展示室2／175.4㎡
 - ・展示室3／64.5㎡
- 交通アクセス：
 - ・JR山陰本線「嵯峨嵐山」駅下車、徒歩12分
 - ・阪急嵐山線「嵐山」駅下車、徒歩11分
 - ・嵐電（京福電鉄）「嵐山」駅下車、徒歩4分



嵯峨嵐山文華館概要

- 名称：嵯峨嵐山文華館／Saga Arashiyama Museum of Arts and Culture
- 住所：〒616-8385 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11
- 電話番号：075-882-1111（FAX）075-882-1103
- メールアドレス：support@samac.jp
- ホームページ：<http://www.samac.jp>



- 運営：公益財団法人小倉百人一首文化財団
- 交通アクセス：
 - ・JR山陰本線「嵯峨嵐山」駅下車、徒歩14分
 - ・阪急嵐山線「嵐山」駅下車、徒歩13分
 - ・嵐電（京福電鉄）「嵐山」駅下車、徒歩5分
- 設立：
 - 2006年 「百人一首殿堂 時雨殿」として設立
 - 2011年 一時休館
 - 2012年 リニューアルオープン
 - 2017年 一時休館
 - 2018年 11月1日 「嵯峨嵐山文華館」としてリニューアルオープン

本展に関するお問い合わせ

福田美術館 広報事務局（ウインダム内）

TEL 03-6661-9448 FAX 03-3664-3833

Email fukudamuseum@windam.co.jp

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9-4F

「福田美術館」広報事務局

担当：沼澤、多田